

# 大戸沢岳

1991. 2/8(月) ~ 3/1(火) 快晴 単独

## 馬場.

朝、起きると磐梯山が昨日とは嘘のよう快晴で全容を現し、定に見事な眺めだ。

朝食後車で檜枝岐、民宿 清水屋に着いた。時間がはやいで、途中まで登ることにする。林道を登り途中から左の尾根へとりつき1350メートルのアンテナのある広い尾根がある。

久しぶりの重い荷物に苦労する。月曜で登山者もなく丁度一人ゆっくり広い尾根を登行する。1450メートルからは緩い広い尾根だが、ブナの林からシラビソの針葉樹に変わる。名前方には、明日登る大戸沢岳の白銀の稜線が美しい。1700メートル地点に着きツェルトを張る。夕食は、味噌汁、かんづめ、農協米の食しいものだ。うつかりしてアルコールを忘れてしまったので紅茶を飲む。

3/1(火)

四時起床、空にはまだ星が眩いばかりに輝いていた。ラーメンの筒等を朝食を済まし出発する。東の会津高原の山から太陽が昇る。

針葉樹の間を登行し1990Mの無名木の斜面にある。更に登行して馬の小屋をまわり2132Mの馬ヶ岳の頂上に着く、三百六十度の見事な展望を楽しめ、シールを着けたまま、2098Mの無名峰を通り大戸沢岳2089Mの広い頂上に達する。左に上大戸沢岳が落ちこみ、右に下大戸沢岳がそれこみ左には、三岩岳が聳えていた。好天でこれかろ清々尾根がはっきり見渡せるので迷う心配は無い。始めた大木の針葉で無立木で視界の悪い日は大変だろう。背中のリットルが重いので慎重に滑り降りる。途中低木の枝の下から兔が驚いて逃げやどいた。1660Mでは、さりげなく根にかかる。

風も弱まりブナの疎らな渓り湯の斜面を快調に滑る。1550Mの尾根を滑ると急カモカが現れ下大戸沢に足速に逃げて行く。1386Mを過ぎ尾根がせまく斜度が急かるたが渓り早く尾根をはずさないよう高度を下げる。下大戸沢を左に見ながら緩い傾斜を渓り国道152号線の道路ある。十一時四十分頃のバス停で哈わすかしたのが強気だ。検査役に向かって国道を歩く途中荷物を手おいて車でとりん来て民宿に寄り、村営第二公衆浴場に入り汗を流す。今ワーキング登山者12人わずか一人にめの勢いはアーレはよき。

## コースタイム

8/18(月) 渓沢橋 12:00 → 1700M地点 14:30 →

8/19(火) 宿 6:00 → 駒ヶ岳頂上 9:00 ~ 9:10 →

→ 大戸沢岳 10:10 ~ 10:20 → 1660M 11:00

→ 1386M 11:30 → 国道 12:30

